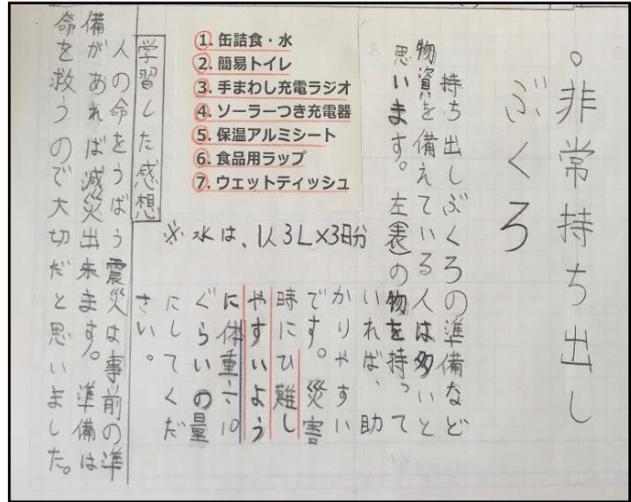
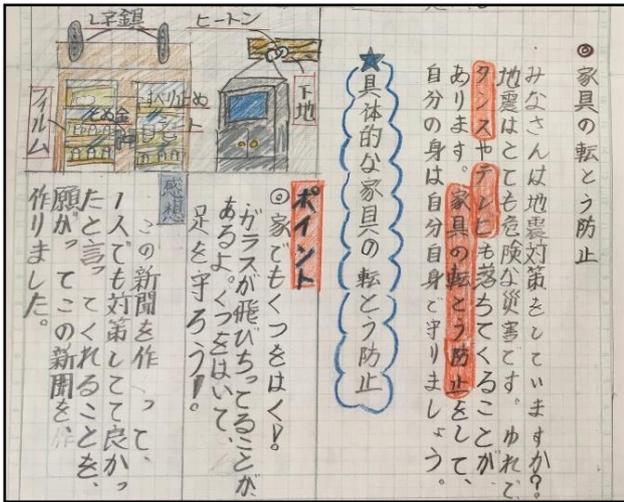


総合的な学習の時間 防災新聞



防災減災について考えよう ～大観のまちの未来～

コロナ感染対策を最優先に考え、まちの高齢者との関わりをもつ体験を、単元計画に取り入れることを断念した。単元の中盤に、児童と教師で考えた結果、学習のゴールは、「防災減災について新聞をつくり、県立舞子高校生に送り評価をもらう」ということになった。

【児童が作成した新聞の感想部分より】

A児

災害について学習してきて、より命の大切さがわかりました。私の家では、まだ、防災グッズを準備していません。でも、ハザードマップを見たり、地震が起きたら大観小学校に避難しようと思ったりはしています。

あと、大事なものは「自分は大丈夫だ」と思わないことです。自分は大丈夫だと思い、津波に飲み込まれて亡くなった人もあるから、自分で自分の命を守ることが大切だと思う。

B児

私は、この学習を通して、ささやかな知識を持っていることが、命を守ることにつながると知りました。

C児

人の命を奪う災害は、事前の備えがあれば減災できる。準備をすることは、命を守り救うことに大切なんだと思いました。

D児

私は、この学習を通して、「自分は大丈夫だ」と思っていないといけないと学びました。それは、海から離れたところにおいても同じです。自分の命を自分で大切にしていきます。